

それぞれのデータは、一方は回収された気球ゴンドラに搭載されていたビデオレコーダに、赤外測光データは地上に伝送されてテープレコーダに納められている。これらのデータは今後計算機による本格的な解析を経て科学的な情報が抽出されることになるが、すでに約4R₀の位置のピークは赤外の幾つかのバンドのクイックルックのチャートに認められており、可視から赤外にかけて初めて総合的に測られた今回の観測から、Fコロナやダストリングの性質を知る手がかりが得られるかも知れない。(舞原)

お知らせ

東京天文台一般公開

東京天文台の一般公開(本会后援)が11月12日(土)に行われます。台内諸施設の公開は午後2時から午後4時30分まで、月面観望は午後7時30分まで行われます。天候の都合で観望終了時刻を繰上げることもあります。なお雨天の際は中止となります。

当日参観を目的の自動車の構内乗り入れは禁止です。幼児には必ず保護者の同伴をお願いします。

新刊紹介

Compendium in Astronomy (天文学総説)

E. G. Mariopoloulos 他編

(D. Reidel Publishing Co., 1982)

ギリシア出身の天文学者ジョン・ザンタクシスがアテネ科学アカデミーの会員となって25年間精力的に活動してきたことの記念に、彼の弟子や友人たちが寄稿してまとめた本である。天文学史、天体力学、太陽物理、惑星科学、恒星物理、銀河、宇宙論など天文学全般にわたって36編の論文が掲げられている。教科書ではなく、かなり程度の高い論文集なので、研究者向きである。

(編集部: 桜井)

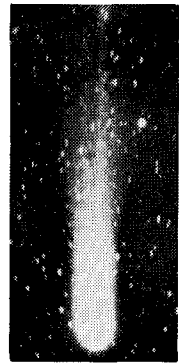
岩波書店

東京千代田一ツ橋/振く東京76-26240



ハレー彗星がやってくる!

N. コルダ著 小尾信彌訳
人々を熱狂させてきたハレー彗星が、1986年に76年ぶりにやってくる。本書は、彗星の出現におびえる古代の皇帝、ニュートンとハレーの口論、幾晩も徹夜して新発見をめざす観測家など様々な話題を満載したいわば万人向けの楽しい彗星百科である。カラー口絵五丁のほか、60余の図版を収録してわかりやすくした。



菊判並製・カバー・216頁 定価2300円

ブラックホールと宇宙の崩壊

P. デイヴィス著 松田卓也・二間瀬敏史訳
ブラックホールの奥底に潜み、宇宙で最も不可思議で、現代科学における最大の危機的な問題をはらむ「特異点」について数式を使わず巧みに解説する。【岩波現代選書 NS版535】

新B6判並製・カバー・274頁 定価1600円

現代天文百科

S. ミットン編 古在由秀・寿岳潤・森本雅樹訳
天体観測のめざましい進歩にともなって、次々と新しい知見が得られ、われわれの宇宙観は大きく変わってきた。世界第一線の研究者の協力により完成した本書は、全23章からなる大項目百科で、多色刷の図・写真を豊富に用いて現代天文学の全貌を平易に解説した。

【国際共同出版】B4判変型上製・492頁 定価12,000円

星の古記録

齊藤国治著 東西の古文献にある日食・食流星・彗星などを複雑な天文学的計算によって再現し、昔の人たちが見た星空の世界へ読者を誘う。【岩波新書 黄版207】 216頁 定価430円